

合志市総合計画進行管理 【合志市総合政策審議会意見・指摘事項】

審議日 平成 29 年 8 月 9 日、16 日、24 日

市総合政策審議会意見・指摘事項の基礎となった個別意見(番号入りの意見)を付記していますので、参考ください。

1 市民参画によるまちづくりの推進

・市民や団体が一体となれるような、合志市メインイベントを検討すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①市民手作りの合志祭りの一本化してはどうか。
- ②イベントの予算を分散せず、メインになるイベントを立ち上げること。
- ③イベントは委託費ではなく、赤字は補填する制度で各団体が行なうのはどうか。
- ④市民が一体となれるような手作りの祭りを復活させてはどうか。
- ⑤各地域活動団体の結束を図るため、全体会を行なうことが必要。

・まちづくりのリーダーを育成すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①まちづくりは人づくりであるので、リーダー候補の研修会を開催し、リーダーの育成を図ること。
- ②自治会や区の取り組みを活性化させる啓発と地域活動の担い手の育成が必要。
- ③まちづくり団体を集めて活動報告会や研修会の開催をしてはどうか。
- ④各家庭（市民）が、自治基本条例を学習し認知し活動を起こして欲しい。
- ⑤小中学生の時代から自分の「まちづくり」に対する学習、研究テーマを教育の一貫として採用させてはどうか（作文、絵など）。
- ⑥住みやすいまち、合志市として年令を問わず「まちづくり」に対する討論会を実施したらどうか。

・国内外の地域と連携し地域活性化につなげること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①姉妹都市提携を進め、相互の伝統文化を生かし、人材育成をすすめることが必要。
- ②国内外の地域との連携施策を検討すること。

・国や県の施設等を有効活用すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①農業公園の利活用により市民団体の活動の場をつくること。
- ②農業公園、農業大学校、国の機関等を利用した農業学園都市づくりを進めること。

2. 行政改革の推進

・利用者が欲しい情報がすぐ見つかるような、分かりやすい情報の発信に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①情報の共有（ホームページの改善）を図る。
- ②現在市庁舎の改装中であるが、市民の理解を得るために課別の配置等についてあらかじめ（年内）広報で市民に周知して理解を得るべきではないか。

・窓口の効率化、市民サービスの向上につなげる取り組みを進めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①市民ニーズへの柔軟な対応をしてほしい。
- ②サービスの低下をまねかないような人事を行なうこと。
- ③市民課窓口サービス向上を図る。
- ④集中する窓口業務、時間帯への職員配置をする必要がある。
- ⑤新人職員への研修中腕章は効果的だった。対応をゆとりを持って待つことができた。
- ⑥震災関連などが起こった際に、急なサービス低下が起きないようにしてほしい。
- ⑦介護保険サービス（住改、福祉用具など）が他市町村と比べて厳しい。

・効果的、効率的な行財政運営に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①市庁舎の統合改革を具体的に示してほしい。
- ②自主財源の確保、向上を図る。

3. 財政の健全化

・引き続き、歳出の削減、歳入増のための新たな仕組みを考える取り組みを進めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①指定管理者制度について広報で周知して理解を得る努力をすること。

- ②ふるさと納税の更なる充実を図る。
- ③遊休市有地の売却や、里道を点検し不必要な里道は売却してはどうか。
- ④市街地を拡大し固定資産税の増収を図る。
- ⑤高速道路固定資産税化を図る。
- ⑥国有地、県有地の減税制度を見直し税収増を図る。
- ⑦イベントで市外からの来場者からは駐車料金を取ること（九州大会、県大会など）。
- ⑧税金を納入するような（出来る）大企業の誘致を図ること。
- ⑨古くなった施設が見受けられる。あらかじめ更新、整備計画を早めに立て計画的な運営に努めるべき。

・財政状況の公開を分かりやすく行なうこと

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①引き続き、財政状況の公開を積極的に行って欲しい。
- ②さらに財政状況の公開を分かりやすく行なうこと。

・滞納が減っていくような工夫をすること

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①市税等における高額滞納者に対し具体的に納税するように指導助言等を行なっていく。

4. 子育て支援の充実

・引き続き、行政・学校・保育機関・家庭及び地域が連携を図り、子どもを見守り育てるまちづくりを進めること

（まとめの基礎となった個別意見）

〔地域〕

- ①地域のサロンにもっと参加させるような声掛けと取り組みを行なうこと。
- ②登下校の子どもの見守り、特に下校時に合わせて高齢者の散歩等の呼びかけを行なうこと。
- ③農業等の職場体験を実施。
- ④子どもたちに伝統文化（食、学び、遊び、芸能等）の継承・指導の仕組みをつくる。
- ⑤夏・冬・春等長期休暇中の子どもの生活支援、見守りを検討する（地域で学童クラブみたいに）。

〔各団体〕

- ⑥一時預かりをして幼稚園に通園させる取り組みはどうか。
- ⑦子ども食堂の開設の必要性を検討する。

〔規制の見直し〕

- ⑧幼児教育について所轄省庁に働きかけること。
- ⑨保育園の入園条件の緩和を図ること。

5 健康づくりの推進

・ウェルネスシティこうしでの取り組みをもっと周知すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①ウェルネスシティこうしで実施している事業の周知徹底を図って、健康づくりの動機付けを図る。

・健康づくりのための取り組み(運動・食生活)を充実すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①行事作業の前には必ずラジオ体操を実施する。
- ②公園に健康器具を設置して欲しい。
- ③男の料理教室を実施し、食の意識を変えていくのはどうか。
- ④ラジオ体操やギネスに挑戦など、団体に挑戦するイベントなどの取り組みをしてはどうか。
- ⑤ラジオ体操、ウォーキング等種目を絞って実施していく。

6. 社会福祉の推進

・身近な地域連携体制づくりの呼びかけと人材の確保を図ること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①新しく住民になられた方の地域意識の推進が必要。
- ②民生委員頼みにならず近所での人付き合いを大切にしておくこと。
- ③福祉に限らず身近な地域連携体制づくりの呼びかけを行なう。
- ④ボランティアの育成が必要。
- ⑤地域人材の確保。
- ⑥地域で支えあう体制は出来てきたが、お互いが高齢化してきたことが心配なので下支えする人材が必要。
- ⑦地域組織の維持が必要。
- ⑧各地域単位での活動が難しいので広範囲で人材を集め、ボランティアの育成に努めること。

・地域の情報を共有すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①地域活動グループの情報発信と周知が必要。
- ②分野に限らず各種団体で活動している人たちのネットワークを育成すること。
- ③民間福祉事業者との情報共有が必要。
- ④人と人とのつながりの場をつくり、ネットワークを強化すること。

7 高齢者の自立と支援体制の充実

・老人会への参加の推進と高齢者の居場所作り（サロンなど）の充実に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①まちなかカフェを育成し、運営も高齢者で行なってはどうか。
- ②居場所作り（サロンなど）が必要。
- ③高齢者が集える場所作りが必要。そのためにもまずは老人会の充実強化を図る。
- ④団塊の世代をどうやって老人会に加入させるか（老人会の活性化）を検討する。
- ⑤老人会の会員増を図るため魅力ある老人会を模索する。

・高齢者の健康や生きがいづくりの充実に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①健康体操の日を作り、高齢者の参加を呼びかけてはどうか。
- ②身近な地域で要介護にならないための活動や趣味を活かした生きがい作りをPRする。

8 障がい者（児）の自立と社会参加の促進

・障がい者を支える人を増やすよう努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①利用者は増えても支援者不足が問題なので、障がい者を支える人の雇用改善を図ること。
企業のカウンセリング（カウンセラー）を充実させることが必要。
- ②ヘルパーなどの賃金UPや市の専門職の増加を図ること。

・障がい者、施設、市、地域とのつながりを深めること

(まとめの基礎となった個別意見)

①地域と保健師のつながりを深め、事業所と地域の連携・協力体制を強化すること。

・障がい者が安定して働ける場所の確保に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①障がい者、生活困窮者の働ける企業を増やしていくことが必要。
- ②療育事業所の質の確保を図ること。

9. 義務教育の充実

・社会変化に対応した教育の環境の整備を図り、教育の更なる充実を図ること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①読書活動の推進を図り、生きる力のヒント及び勉強の楽しさを身につける必要がある。
- ②各学校で児童生徒数の差が大きいが、教育内容は同じにしてもらいたい。
- ③外国語の早期学習を図り、世界的レベルの子どもたちを育成する。

・学校の特長を活かした取り組みをしていくこと

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①スポーツや音楽などのクラブ活動にも力を入れた取り組みが必要。
- ②小中一貫校設立に当たっては地域・保護者に十分な説明を行なうこと。

・地域と学校の連携を図ること

- ①各学校と保護司との連携を強化して欲しい。
- ②交番相談員が不足しており学校等への連絡が完全に実施されていないように思えるので、各交番相談員の増員要望を出し、いじめや不登校問題に対応していくことが必要。

・教職員の環境と質の向上を図ること

- ①塾に行くのが常態化した教育は改めるべき。教師の質の向上を図って欲しい。
- ②学校の先生は忙しすぎるとの声をマスコミでは良く聞く。実態を把握し、早急に対応することが必要。

・引き続き、心身の健康のための取り組みを進めること

- ①道徳の心を育てる教育を積極的に取り組んで欲しい。権利のみの主張ではなく、義務の心を育む教育を望む。
- ②幼児期からボランティアの心を育む教育を行って欲しい。
- ③いじめ、体罰等についてはその兆候の把握に努め、迅速かつ適切な対応に努める。

- ④「メンタル教育」の強化を。自立、積極性、優しさなどの心を養う必要がある。
- ⑤さらに不登校児童生徒の解消や学力の向上を図る。
- ⑥子どもたちの携帯端末の使い方について、家庭や学校で徹底すること。

10. 生涯学習の推進

・生涯学習に取り組みやすい環境整備を進めること（ハード、ソフト）

（まとめの基礎となった個別意見）

〔施設〕

- ①施設整備（研修、スポーツができる場所の確保）を進めること。
- ②現場研修を推進すること。

・学習内容の充実を図り周知方法を工夫すること

（まとめの基礎となった個別意見）

〔学習内容〕

- ①生涯学習の体系化（プログラムの整理）。
- ②ステップアップの場を作っていくことが必要。
- ③強みを伸ばしてはどうか（マンガ、文化など）。
- ④地元の人材を活用する。
- ⑤介護スタッフの育成を図る講座をつくってはどうか。
- ⑥受講者のレベルアップを図る学習内容の検討。
- ⑦長期的な人間関係づくりのきっかけになるような取り組みをして欲しい。
- ⑧市民の意欲を高める取り組みが必要

〔広報〕

- ⑨講座の一覧をHPか広報で周知して欲しい。
- ⑩市民に広く知らせる工夫を検討する。

11. 生涯スポーツの推進

・スポーツにふれあえる機会を提供すること

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①スポーツ大会を活発に開催させていくため、各種競技協会への経費の支援を行なうこと。
- ②各種目別・能力別に大会を計画してはどうか。
- ③地元スポーツ大会またはイベント用のテント類や用具貸し出しがスムーズに出来るよう

に数を増やしてほしい。

- ④各種大会を多く行なってはどうか。
- ⑤会場、施設の地震被害からの復旧を急いで欲しい。

・社会体育の推進のための環境整備を図ること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①スポーツ推進員や指導員の増員に努めること (有料ボランティアなど)。
- ②民間スポーツクラブの連携により、施設を有効に活用すること。
- ③各種目ごとの指導者を増やすことが必要。
- ④種目ごとの指導者を育成すること。
- ⑤活動の場所を確保できるようにすること。

12. 人権が尊重される社会づくり

・引き続き、家庭教育、地域教育の更なる充実を図るため、年少期から学習できる環境の整備に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①小中学生の人権教育を引き続き実施して欲しい。
- ②家庭での人権意識を高めることが必要。

・引き続き、研修機会の更なる充実と啓発を行い、参画させる仕組みを検討すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①合志市は恵楓園があるので特にハンセン病問題等の教育の取り組みを引き続き実施して欲しい。
- ②人権学習を一層深めることが必要。
- ③人権教育の充実させ、どのようにしてたくさんの人に参加してもらうかを検討する。

13. 歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成

・観光と一体化して取り組むなど文化財の周知方法を検討すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①「合志マンガミュージアム」が長く愛されるように努力して欲しい。
- ②民話を収集し、スポットを当てメジャーな話となるよう市民が宣伝してはどうか。

- ③マンガミュージアムについては他の市町村にはないものであり今後の発展を期待している。
- ④市内にある文化財等の案内板のイメージを統一してはどうか。
- ⑤各地域、団体で行っている行事（祭り）等を集め、披露できる場所（イベント）の実施で興味を持たせることが必要。
- ⑥文化財の棟柱等の老朽化が見られるので復旧して欲しい。また、もっとユニークな看板の設置が望まれる。
- ⑦古墳めぐり、ウォークラリーのようなわくわくするイベントを開催してはどうか。
- ⑧黒松古墳群を発掘し整備し、アピールしてはどうか。
- ⑨マンホールに遺跡のマークを入れてはどうか。
- ⑩歴史・文化の楽しみ方を企画して欲しい。

・文化財や伝統文化の後継者の育成を行うこと

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①合志市歴史資料館としての内容の充実を図る必要がある。今後の活動を期待している。
- ②文化財、郷土芸能などに堪能な職員の育成を継続して欲しい（伝統の持続性のため）。
- ③伝統文化や郷土芸能を継承するための後継者を育成する。
- ④引き続き、竹迫観音祭り、須屋太鼓、竹迫初市振興会活動の支援をすると共に後継者育成に努力して欲しい。
- ⑤新しい郷土愛を目指すべき。政策的に高等教育の無料化、医療費の無料化等により古里愛が生まれる。

1 4 危機管理対策の推進

・緊急時に限らず、平時から国内外の情報を分かりやすく市民に伝える努力を行うこと

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①Jアラートの周知徹底を図ることが必要
- ②北朝鮮情勢に対する対応や対策を明らかにすることが必要。
- ③国からの情報を市民に伝えることが必要。

・緊急時における相談窓口を整備すること

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①非常時の窓口の一本化（たらい廻しをしない）の実施。

- ②危険な動植物について相談する課の周知徹底。
- ③サルやアナグマなどの野生動物が出没した時の対応の強化を図る。
(※農政課に確認したところ、アライグマは目撃情報がないとのことでした)

・緊急時の情報発信ときめ細やかな連絡体制の整備を図ること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①平素より住民とのつながりを持つよう働きかける。
- ②防災無線の放送が聞き取りづらい。
- ③緊急連絡体制を強化すること。

1 5 防災対策の推進

・避難場所の周知徹底を図ると共に避難場所の在り方も再検討すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①自主避難所、報告制度の周知徹底を図ること。
- ②避難所の周知徹底を。
- ③公園や空き地での避難者の把握とルールの整備をして欲しい。
- ④自主避難所に集まって避難した場合の対策を検討すること。

・地域住民や地域団体を巻き込み、日頃から防災に向けた研究を行うこと

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①昨今の自然災害の大きさに関して合志地域内の危険箇所の洗い出しを行ない、危険箇所に対して対策を事前に実施すること。
- ②各家庭で日頃から災害に関する対策など研究するよう啓発に努めること。
- ③日頃から近隣住民とのつながりを持つよう各家庭に働きかけること。(長期不在時の事故発生時での情報連絡等も)
- ④自主防災組織は若い人たちのみを対象とせず、経験豊富なシニアの加入を検討する。

・防災無線の更なる整備と簡易で分かりやすい連絡体制を構築すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①防災無線の聞こえにくい地区においては計画的な整備の実施。
- ②防災無線放送設備を、取り扱いやすい設備に変更して欲しい。
- ③緊急時の連絡方法を検討すること。

・防災訓練を定期的実施すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①各区を中心とした自主防災訓練を定期的(年に一度以上)に実施すること。
- ②市全体計画の中に、年に1回防災訓練などの実施を取り入れること。
- ③防災訓練は区のイベント時に合わせて実施してはどうか。

16 交通安全対策の推進

・特に、高齢者向けに交通安全の啓発活動を充実させること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①高齢者向けに交通安全教室を積極的に開催する。
- ②高齢者の多い地域に対する交通安全対策を考える(バリアフリーなど)。
- ③更に高齢者事故防止に向けた啓発強化を行う。
- ④高齢者運転標識(四つ葉のマーク)装着時の保護に対する取り組みを強めてもらいたい。着用者に嫌がらせをする若者が多い傾向がある。

・高齢者への免許証返納指導と交通手段の確保に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①交通事故者の年齢区分の確認と免許返納等の指導の徹底。
- ②高齢者の免許証返納を推進し、その後の対策を検討して欲しい。例えば、電動自転車購入の補助や返納者への特典など。

・道路整備など交通安全施設を充実させること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①車道と歩道の分離推進。
- ②カーブミラーや横断歩道の整備を進めること(特に渋滞地区)。
- ③交差点におけるカラー舗装をもっと増やすこと。

・管轄が変わる際、引継ぎを確実に行うこと

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①大津署から熊本北合志署へ移行時に交通安全対策がスムーズにいく様に働きかけて欲しい。
- ②熊本北合志署へ変更後も引き続き、交通安全に努めることが必要。

17 防犯対策の推進

・特に高齢者や子どもたちが犯罪被害に遭わないよう防犯対策に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①年少者、特に女子（幼児を含む）を犯罪から守るような対策に努めること。
- ②高齢者を犯罪から守る取り組みが必要。
- ③他人の子でも自分の子と同じように見守る認識を持つようにキャンペーンをしてはどうか。

・引き続き、防犯カメラの設置等、防犯に対する環境整備に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①車のドライブレコーダーに補助を出したらどうか。
- ②行政区ごとに防犯カメラの設置基準を定めて「防犯の目」を完備する取り組みの実施。
- ③今起きている犯罪について、すぐに市民に知らせて欲しい。防災無線もなかなか聞けない。

・引き続き、地域や関係機関との連携を図り地域の防犯力向上に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①「子ども110番」等、救いを求めるところを増やしてほしい。
- ②郵便、ヤクルト、新聞配達の人たちの連携をとってもらい、子どもたちを見守ってはどうか。
- ③暗くなって危ないので、地区の美化作業では出来ない部分（道や山）の管理をしてもらいたい。

18 住環境の充実

・安全な住環境の整備を図ること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①団地内などで自転車や歩行者が利用しやすい環境整備の推進。
- ②小学生への登下校の見守り活動は続けて欲しい。
- ③標識、街灯、カラー舗装など、安全・安心なまちづくりの推進。
- ④通過交通への対策を進めること（北熊本IC、団地内など）。

・空き家対策に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①高齢化社会に伴う施策の充実を図る（空き家など）。
- ②空き家の防犯、荒廃対策の実施。
- ③民間企業からの企画・提案（障がい者のシェアハウス等）を募るなどして、空き家を有

効活用してはどうか。

・地域の交流の場の充実を図ること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①災害時に使える公園整備（トイレや水道など）を進める。
- ②人口増に伴う施設（公園、ゴミターミナル、コミュニティ施設）の充実を図る。
- ③交流の場の充実を。

・美しい住環境の整備に取り組むこと

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①野良猫に限らず野良犬の糞尿対策をすること。
- ②排水路の清掃強化対策を検討すること。

19 水環境の保全

・節水の周知・啓発を図ること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①各家庭ごとに「水」の大切さや節水、保全活動に関する啓発活動が必要。
- ②「雨水タンク」の設置助成をもっと活発的にPRして、普及させること。

・水質保全、水資源の保全をさらに努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ④各河川の環境は、継続的に保全に取り組むことが必要。
- ⑤下水道普及で河川の環境は良くなったので、今後も水質保全に努めていくことが必要。

20. 水の安定供給と排水の浄化

・水質保全及び水資源の保全を更に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①漏水調査の徹底を図ること。
- ②災害に備える上下水道施設を完備すること（豪雨の時のマンホールふたの安全性など）。

2 1 廃棄物の抑制とリサイクルの推進

・ゴミ減量化のための工夫を行うこと

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①事業所の生ゴミ排出量が増加しているので指導すべき。
- ②ゴミステーションに出せない事業所ゴミ（小規模商店や個人）の自主廃棄の啓発を強く指導して欲しい。
- ③ペーパーレス会議の実施。
- ④配布ではなく回覧すると紙利用が減らせるのではないか。
- ⑤生ゴミの出ない調理法の指導を行なうこと。
- ⑧ゴミ減量化への各種制度を普及・浸透させる必要がある。

・ゴミを分別し、出しやすい環境を整備すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①コミュニティセンターに廃油回収所を設置してはどうか。
- ②コミュニティセンター等市民が集まれる場所に365日24時間いつでも出せる回収BOXの設置を検討する。
- ③ゴミ回収BOXの設置（増設）を図る。
- ④ゴミ分別の徹底を図る。

・環境美化推進員の資質向上を図るため、研修等を行っていくこと

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①環境美化推進員に温度差がある。更に資質の向上を図る。
- ②環境美化推進委員の資質向上を図るための講習会や研修会などの実施。

2 2 地球温暖化防止対策の推進

・引き続き、ゴミの減量化に向けたゴミ分別の啓発に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①ゴミ分別を徹底すること。
- ②ゴミ袋を小さくして意識づけをする。
- ③マイバッグの普及促進。

・CO2削減に向けた具体的な取り組みを推進すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①車の乗り合い通勤をしてはどうか。
- ②自転車の活用を展開する（道路整備を含む）。
- ③熊本電鉄（電車）の利用促進。
- ④グリーンカーテン（ゴーヤやきゅうりなど）の普及推進。
- ⑧電気自動車の利便のため、充電施設を増設してはどうか。

23. 計画的な土地利用の推進

・土地利用の規制緩和を働きかけること

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①用途指定の規制緩和が必要。
- ②農用地の規制緩和をお願いしたい。
- ③市街地調整区域の規制緩和を図ること。

・スマートICの整備促進と合わせ、周辺地域並びに幹線沿線の開発を検討すること

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①スマートICの整備を推進すること。
- ②スマートIC開通を見越した県道大津西合志線沿線の開発を進めること。

・国、県など関係機関と連携して、広域的な土地利用を検討すること

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①重点区域土地利用計画に沿って国、県へ要望を行なっていく。
- ②国、県有地を含む土地の有効活用を図ること。

24. 計画的な道路の整備

・国、県、周辺市町との連携を図り、交通渋滞解消に努めること

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①公共交通との連携。
- ②渋滞解消のための対策、検討。
- ③交通実態に合わせた道路改良。
- ④道路整備の財源確保。

・現状をふまえ、危険箇所を改善し安全な道路の整備を図ること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①危険箇所への改善を図る。
- ②歩車道分離を進める。
- ③現状を把握し安全に重点をおいた整備をすること。
- ④安全安心な道造り（交差点の改良）を推進していくこと。

2 5 公共交通の充実

・利用者を増やす取り組みをさらに強化すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①レターバスの定期券普及のため周知を図る。
- ②利用しやすい施策の充実させること（安いパス券、どこでも利用できるカード（スイカなど））。
- ③高齢者の運賃減免の検討。

・利便性の向上に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①三ツ石 ⇄ 高速西合志バス停間の道路をカラー舗装などして、分かりやすくしてほしい。
- ②空港へのアクセス、福岡へのアクセスなど大きな視点での路線を踏まえた公共交通網の体系化を図る。
- ③バスロケーションシステムの改善を図ること。またアクセス向上のため努力が必要。

・公共交通充実のための工夫を検討すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①熊本電鉄とプロジェクトチームをつくるなどして、さらに連携を図る。
- ②今後、さらに公共交通が利用しやすいものになるように市民アンケートの結果等の検証を繰り返し、実施していくことが必要。
- ③公共事業者との連携を図ること。

26 農業の振興

・後継者の確保とリーダーの育成を図る取り組みを更に進めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①子どもたちに魅力ある農業体験をさせてはどうか。
- ②リーダーの養成を推進していくこと。

・販路拡大への取り組みを強化すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①生産者と消費者が手を結んで容易に販売・消費ができるシステムの検討。
- ②農家直売所（物産館）の商品が、どれだけ新鮮かをアピール出来るようなイベントを実施してはどうか。
- ③売込み担当者がいると、収益や販路拡大につながるのではないか。

27 商工業の振興

・合志市の核となるような商店街などを確立すること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①多くの人が集まってくるような商業施設の確立を図る。
- ②市の核となるような商店街などを検討。

・引き続き、合志ブランドの開発や商品のPR、価格の検討を進めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①引き続き、合志ブランドの開発と商品PR、販売を進めること。
- ②合志ブランド、合志オリジナルの手土産開発の推進。
- ③合志ブランドで手頃な価格の「お土産」を作り、販売して欲しい。
- ④クラッシーノマルシェはおおむね高価に感じるので、価格見直しの検討をして欲しい。
- ⑤新規産業の創出、農業生産品の工業化の実施。

・プレミアム商品券の発行と利用店舗を増やすこと

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①プレミアム商品券を発行し、利用できる市内の店を増やしてほしい。
- ②プレミアム商品券をまた発行して欲しい。

28 企業誘致の促進と働く場の確保

・企業誘致による地元の雇用促進に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①企業が進出できる場（土地）の確保が必要。
- ②起業支援、新規参入の促進。
- ③「クリエイター」「アニメ」「漫画」の定住・起業・活用の充実を図る。
- ④農業を活かす就労促進に努める。

・多様な働き方に合わせた環境の整備に努めること

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①“働き方”の変化に合わせた環境の整備を図ること〔一時預かり（子ども）、ワーキングスペース（フリーランス）、リモートワークなど〕
- ②会議、研修のできる施設を整備すること。
- ③企業を誘致するだけでなく、多様な“働く場”の環境を整備、充実させることが必要。